

総合開会式における入場行進の審査について

審査委員会

1 入場行進優秀校（優秀校15校、参加校82校）

高崎健康福祉大学高崎高等学校	（30年連続30回目）
吾妻高等学校	（27年連続28回目）
高崎女子高等学校	（11年連続25回目）
前橋商業高等学校	（2年ぶり22回目）
前橋女子高等学校	（2年連続20回目）
前橋南高等学校	（7年連続18回目）
常磐高等学校	（2年ぶり14回目）
勢多農林高等学校	（10年ぶり8回目）
高崎高等学校	（8年連続8回目）
共愛学園高等学校	（2年連続7回目）
東京農業大学第二高等学校	（5年連続5回目）
桐生高等学校	（4年連続4回目）
前橋高等学校	（7年連続3回目）
前橋育英高等学校	（3年ぶり3回目）
四ツ葉学園中等教育学校	（初）

2 総評

総合開会式における入場行進等の優秀校の審査は、昭和61年度第21回大会から実施され、今回で30回目を迎えた。各学校における日常の集団行動の学習成果が十分に発揮され、特にここ数年全体のレベルが向上し、技量も拮抗してきている。高校生らしい、明るくはつらつとした行進が多く見られ、入場行進優秀校は15校であった。

優秀校について、連続受賞は10校、返り咲き受賞は4校、初受賞が1校である。なお、本年度特筆された優秀校は、吾妻高等学校、桐生高等学校、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎高等学校、共愛学園高等学校の5校である。

県高校総体の趣旨を理解し、充実した開会式ができるよう今後とも各学校の御尽力をお願いしたい。